

# 司令塔機能の強化 本年6月を目途

○岸田総理 これまでの対応を客観的に評価し、次の感染症危機に備えて、本年6月を目途に、危機に迅速・的確に対応するための司令塔機能の強化や、感染症法の在り方、保健医療体制の確保など、中長期的観点から必要な対応を取りまとめます。

(出典：令和4年1月17日衆議院本会議)



# 立憲民主党の法案(2021年6月提出済)

## 国民の命を守るための 検査拡充・病床確保・医療従事者等 支援法案

### 新型インフル措置法改正案

- 新型コロナウイルス感染症に係る検査の拡充
- 予防接種を行う場合の問診手続きの見直し
- 患者等に対する医療を確実に行うための要請等
- 他の都道府県知事に対する医療の提供の要請
- まん延防止重点措置に関する見直し

### 医療従事者等への給付金法案

- 新たな「コロナ対応医療従事者等慰労金」の支給

### 特定医療従事者支援法案

- 特別就労支援金の支給

(出典) 立憲民主党法案資料をもとに長妻昭事務所で作成



# どれが正しい? コロナ対策(人流等)

	尾身分科会会長	国の方針	小池都知事ら
人 流	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ステイホームとか外出自粛とか必要はない。</li> <li>・人流抑制ではなく人数制限</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人流や人との接触機会の削減が重要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不要不急の外出自粛</li> </ul>
県をまたぐ移動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県をまたぐ移動は、感染リスクの高い行動は控える。(尾身氏含む専門家提言)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不要不急の帰省や旅行等、都道府県間の移動は極力控える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不要不急の都県境を越える移動も自粛</li> </ul>

※国の方針とは「新型コロナウイルス感染症の基本的対処方針(2022年1月19日変更)、尾身氏含む専門家提言とは2022年1月21日に提出された「オミクロン株の特徴を踏まえた効果的な対策」のこと。



# 政府による 高機能マスクの義務化・配布など

**イタリア**

**FFP2マスクの着用を義務化**

対象：公共交通機関、映画館、コンサート、クラブ、  
スポーツイベント等（緊急事態宣言終了まで）

**ドイツ**

**FFP2マスクの着用を推奨**

対象：公共交通機関、小売店、閉鎖された空間内  
※これを受けて複数の州政府での公共交通機関等でのFFP2  
マスクの義務化が実施されている（ベルリン州政府など）

**米 国**

**4億枚のN95マスクを国民に無料配布を決定  
成人一人当たり3枚配布予定**



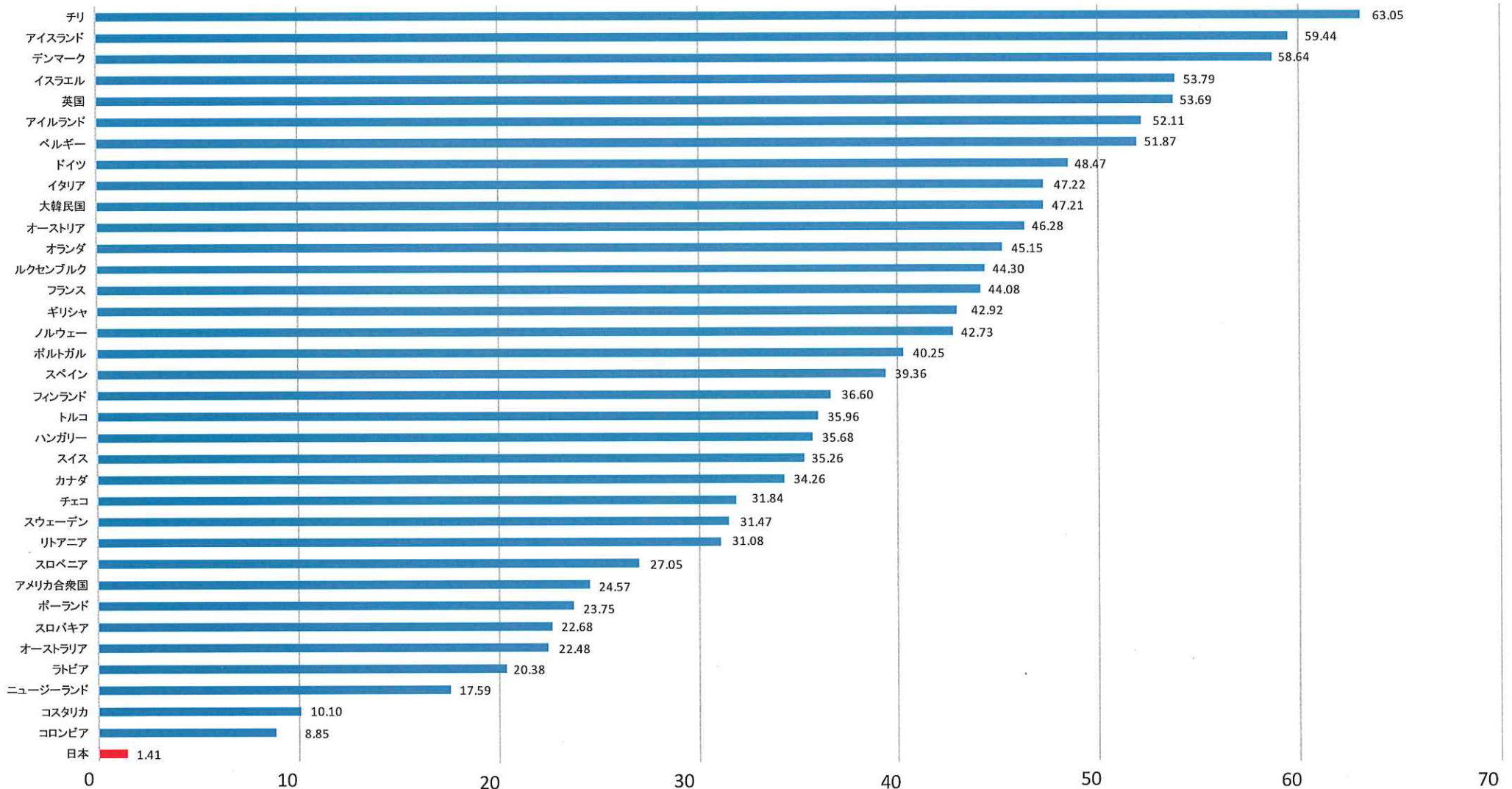
# 労働法制は岩盤規制

- 長妻委員 (安倍総理は)労働法制、これは岩盤規制だ、自分のドリルからは逃れられない、こんな趣旨のお話をされている。この考え方はぜひ改めていただきたい。
- 安倍内閣総理大臣 その岩盤規制に穴をあけるには、やはり内閣総理大臣が先頭に立たなければ穴はあかないわけでありますから、その考え方を変わるつもりはありません。

(出典：平成30年1月29日衆議院予算委員会議事録抜粋)

# 人口100人あたり新型コロナワクチンブースター接種率(2022.1.19時点)

## ～36か国中、日本は最下位～



出典：『Official data collated by Our World in Data』をもとに長妻昭事務所で作成

※新型コロナワクチンブースター接種回数の総数を国の総人口で除したもの。

※ブースター接種：当初のワクチン接種手順に規定された回数を超えて行われるワクチン接種